



2025 年度
第 2 号

体育市民連帯 ニュースレター

1
「混乱の連続」
体育会長選挙
専門家が見た
異変の原因



2
柳スンミン
新体育会長の課題
政府と関係回復組織の
正常化



3
チョン・ジンワン
大韓障害者体育会長
得票率 89%で
再選成功



4
中央選挙管理委員会の
委託失敗
サッカー協会
「公正選挙」さらに切実



5
もっといい大学に行ける
受験生の親から
お金を巻き上げた
スポーツ指導者たち



大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけませんか？



*

01 スポーツワールド 2025. 01. 17

「混乱の連続」体育会長選挙、専門家が見た異変の原因



「下町の民心、コンクリート支持層を崩して異変を起こした」

話題も多く、問題も多かった第 42 代大韓体育会長選挙が、柳スンミン元大韓卓球協会長の勝利で終わった。体育界の「トップドッグ」だった李ギフン大韓体育会長が崩れる大異変だった。改革が切実だという民心の羽ばたき

が、大韓体育会長の選挙構図を変えるバタフライ効果をもたらした。

柳当選者と李会長の差はわずか 38 票だった。有効票 1209 票を基準にすると、約 3%の微細な差だった。李会長が優勢だろうという予想が外れた。スポーツ評論家のチェ・ドンホは「一般的な予想では『李ギフン会長が有利だ』『現職プレミアムがある』と言ったが、実際にはそうではなかった」として「ごく少数のコンクリート支持層だけが李会長側にいた。底辺から変化している民心が実際の投票にも反映された」と説明した。「韓国体育は改革が必要だ」という民心がコンクリート支持層を越えたのだ。

続いてチェ評論家は「柳スンミンは正統体育人であり、大韓卓球協会長と国際オリンピック委員会 (IOC) 選手委員を歴任した行政家経験もある」として「体育人の基底に流れる情緒が変わった。「今は体育人が会長となる時になった」と判断したと分析される」と伝えた。

李会長の苦い退場は、自滅のためだという分析もある。ある体育界の関係者は「先に 2 回体育会長を歴任し、強大な影響力を積んだ。これを土台にこれまで固めてきた菜園も明らかにしっかりしていた」と説明しながらも「自身を巡る不正疑惑を含め、司法リスクをあまりにもなおざりにした。うぬぼれていたわけだ。今回の選挙結果は自ら招いた災いだ」と指摘した。

柳氏の足で走る選挙運動、そしてネガティブ選挙戦に参戦しなかった愚直さが勝利の要因だという評価もある。キム・ヒョンス体育市民連帯執行委員長は「選挙を控えて、あるいは開始初期の時には柳当選者がこれほど多くの呼応を集めることはできなかった」としながらも「選挙運動過程で選挙人団の心を得る過程を経た。このような部分が選挙直前まで積もり、支持率が一気に先頭圏まで上がった」と分析した。

文字通り足で走った。柳当選者は全国各地を巡回して体育界の人士と直接会い、大韓体育会加盟 68 種目を直接体験するなど積極的な意志を披露した。柳当選者選挙キャンプ関係者は「各種目の選手たちが体験する苦衷と共に該当種目団体の懸案を把握することができた契機」と伝えた。

キム委員長は「体育界全般に最も熱心に自身をアピールした候補だろう」とし「柳当選者を筆頭にキャンプ組織力が相当だったと見られる。体育界の従事者たちを直接訪ねて会ったり、まだ届いていないところにも電話通話を通じて積極的な選挙運動を繰り広げた。やはり足で走って努力しただけに、体育関係者の心も一部動いた可能性が高い」と説明した。

選挙終盤に浮上した「ネガティブ」論難もやはり、ここに参戦しなかった柳当選者に翼をつけた格好になった。今回の選挙は最初の「反李ギフン」から始まり、終盤には互いの弱点を攻撃するネガティブ戦争に広がった。柳当選者に対しては大韓卓球協会長時代に公金運用論難などが提起された経緯がある。

これに対し柳当選者は状況によって事実を確認する過程を経て、選挙直前に関連記者会見を開き全て釈明した。それとともに「確認されていない内容で互いを誹謗するよりは政策を土台にしたきれいな選挙運動をしよう」と督励した。

ある体育界関係者は「柳当選者は一連の攻防戦を通じて強力なイメージを得た」とし「皆が集中牽制をしなければならないほど危険な競争対象ということを示したのではないか。他の候補らの攻撃が続くほど、柳氏の階級を引き上げる格好になった」と声を高めた。キム委員長も「皮肉なことだ。ネガティブ攻勢のおかげで、むしろ他の候補と（柳当選者が）差別化するところがあった」と話した。

出典：<https://m.sports.naver.com/general/article/396/0000698157>

02 SBS 2025.01.15

柳スンミン 新体育会長の課題・・・政府と関係回復組織の正常化



「アテネの英雄」柳スンミン元大韓卓球協会会長が第42代大韓体育会長選挙で3選を狙っていた李ギフン現会長を破る異変を演出し、新しい首長になりました。

柳スンミン会長は14日に行われた体育会長選挙の開票結果、総投票数1千209票のうち417票を獲得し、3選に挑戦した李ギフン会長を38票差で抜き、韓国の新しい「スポーツ大統領」に選出されました。

2004年アテネオリンピックの時、卓球男子シングルス決勝で中国の王皓を4-2で破る「グリーンテーブル反乱」を起こし、金メダルを獲得した時を連想させる大逆転ドラマです。

柳スンミン当選者は在任8年間にわたり固めてきた「コンクリート支持層」を前面に出して守城に出た李ギフン会長と「ダビデとゴリアテ」の争い（訳注：旧約聖書に登場する羊飼いの少年と巨人戦士の戦い。小さな者が大きな者を倒す例え）で勝利し、韓国体育を導いていく重責を抱え込むことになりました。

柳当選者は当選直後「気分が良いよりは責任感が感じられる」という短い言葉で自分の肩に垂れた重責の重さを代わりに説明しました。

2029年2月まで4年任期の会長職を務める柳スンミン当選者には山積した課題が前に置かれています。

24日後に迫った2025ハルビン冬季アジア大会（2月7～14日）と在任期間中に開かれる2026ミラノ・コルティナダンペッツォ冬季五輪、2026愛知・名古屋アジア大会、2028ロサンゼルス（LA）夏季五輪など各種国際大会で韓国選手団の成績を引き上げなければなりません。

柳氏は25年間選手として活躍し、2014年の仁川アジア大会では指導者として2年、そして行政家（卓球協会会長・国際オリンピック委員会選手委員）として8年を現場で過ごした経験をもとに韓国の競争力を引き上げるという構想を明らかにしています。

汗と努力の価値と選手たちの情熱を誰よりもよく理解する40代の若い会長として、国家代表選手および指導者たちと疎通するものと見られます。

これと共に政府との関係回復と共に体育会組織内部正常化も柳当選者が解決していかなければならない宿題です。

李ギフン会長在任時代、文化体育観光部と対立し、4千400億ウォン規模だった体育会予算から1千億ウォン程度が削減されたためです。

大韓体育会を経て市道体育会に割り当てられていた予算400億ウォン余りを文体部が直接交付しており、体育会事業が文体部などに移管され追加で500億ウォン以上削られました。

卓球協会長や国際オリンピック委員会（IOC）選手委員、2018平昌記念財団理事長として活動し、文体部と良好な関係を築いていた柳会長は、政府と絡んだ結び目を解く適任者と評価されます。

文体部と頭を突き合わせて韓国体育の地位を高める方策を探る必要がありそうです。

さらに、李ギフン会長に失望した体育会職員の士気を高める一方、韓国体育の青写真を新たに設計し、組織を再整備することも、柳スンミン会長に任された課題です。

また、体育会長候補として競争した他の候補とも協力して良い政策は受け入れる一方、多様な人材を活用する知恵が必要です。

新しい4年を担う柳会長が自分が掲げた選挙スローガンのように「変化のスマッシュ！ 「大韓民国体育の未来を変える、イエス・ウィー・キャン・トゥギャザー」 (Yes We Can Together) を実現していけるか注目されます。

出典：https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news_id=N1007948160&plink=ORI&cooper=NAVER

03 ハンギョレ 2025.01.16

チョン・ジンワン大韓障害者体育会長、得票率89%で再選成功



鄭ジンワン大韓障害者体育会長（58）が再選に成功した。

鄭会長は16日、ソウルオリンピックパークテルで実施した第6代大韓障害者体育会長選挙で、総投票数64票のうち57票（得票率89.1%）を得て、圧倒的な票差で当選した。記号1番の李ジェファル候補は7票を得票した。

2000シドニーパラリンピック射撃金メダリスト出身の鄭ジンワン当選者は、選手引退後、行政家として活発に活動してきた。忠清南道障害者体育会事務処長、文化体育観光部障害者体育課課長、大韓障害者体育会利川選手村長などを歴任した。大韓障害者体育会長としては歴代会長の中で初めて再選に成功した。

鄭ジンワン当選者は「この4年間、第5代会長として私たちが持つ障害がこれ以上障害にならない障害者体育環境を構築するために休むことなく走ってきた」とし「新しい4年、障害者体育の持続可能性を高め、障害者体育人全員が自負心を持てる環境を作ることに最善を尽くす。包容と革新で障害者体育の新しい未来を開く」と当選所感を明らかにした。

鄭ジンワン当選者は同日まで職務停止状態で選挙を行い、17日から再び会長職に復帰する。第6代会長の任期は来月27日から2029年2月の定期総会日前日（2月21日）までだ。

出典：https://www.hani.co.kr/arti/sports/sports_general/1178289.html

04 スポーツソウル 2025.01.20

中央選挙管理委員会の委託失敗、「跛行の繰り返し」 サッカー協会「公正選挙」、さらに切実になった



前より透明でなければ信頼を回復しにくい。

大韓サッカー協会によれば15日、鍾路区選挙管理委員会は「私たちの委員会は3月5日に初めて実施される全国同時セマウル金庫理事長選挙管理業務が進行中であることにより日程上任意委託選挙を管理しにくい」という決定を伝達した。選管は「私たちの委員会が委託・管理しても『公共団体など委託選挙に関する法律』上の任意委託選挙は委託団体である大韓サッカー協会と委員会の選挙事務を区分して管理することになっており、現段階で私たちの委員会が該当選挙を全般的に総括委託・管理することは現実的に難しい状況なので同法第9条（任意委託選挙の委託管理決定・通知）により該当選挙を未受託とする」と説明した。

サッカー協会は8日、中央選挙管理委員会に大韓サッカー協会会長選挙管理を委託して進行できるか検討してほしいと要請した。当初8日に予定されていた協会長選挙日程は7日、裁判所が許ジョンム候補側が出した会長選挙禁止仮処分申請を裁判所が引用し全面中止された。サッカー協会の選挙透明性を疑った新聞選挙、許候補側は、「公正な選挙のために中央選管に委託せよ」と主張した。これに対し、サッカー協会は中央選挙管理委員会にこの方式が可能なのか検討を依頼したが失敗に終わった。

申候補、許候補が中央選管委の委託を強く主張した最大の根拠は、選挙運営委員会に向けた疑問にある。選挙人団の規模も問題だったが、委員会名簿にも大きな問題意識を表わした経緯がある。8人の委員のうち現職弁護士は5人だった。社内弁護士を除けば残りの弁護士が4人だが、そのうち3人が建設、不動産専門だった。鄭モンギョ候補が建設会社の現代産業開発会長であることを考慮すれば、問題意識を提起するに値する。その上、サッカー協会は運営委員を隠して世間に知らせなかったため、さらに大きな疑いを持たれた。

中央選挙管理委員会が委託を断ったことで、選挙はサッカー協会ですべて耐えなければならないことになった。辛候補、許候補も、これ以上サッカー協会の選挙運営に反対しにくい状況に置かれた。

そのため、より公正性、透明性が重要になった。裁判所が一度ブレーキをかけただけに、選挙運営委と選挙人団の構成過程で問題になる素地を最大限なくさなければならぬ。特定候補に有利に見える構成は、再び論議を呼ぶに違いない。選挙人団も裁判所が要求した通り、規定に合わせて備えなければならない。皆が認めて受け入れられる過程で選挙手続きを踏んでこそ、跛行を防ぐことができる。

サッカー協会長選挙は予想より1ヵ月以上延期されることになった。サッカー協会は今月中に選挙運営委員会を設置した後、2月初めに理事会の承認を経て選挙業務に着手する予定だ。サッカー協会長の空白が長引けば、組織運営に否定的な影響を及ぼすしかない。サッカー協会の公正選挙が、跛行を避ける最も確実な方法だ。

出典：<https://www.sportsseoul.com/news/read/1490682?ref=naver>

05 連合ニュース 2025.01.19

「もっといい大学に行ける」 受験生の親からお金を巻き上げたスポーツ指導者たち



体育受験生を子供に持つ両親を相手に「より良い大学に入学させる」と騙して3千万ウォンを受け取った者が懲役刑を宣告された。

19日、法曹界によると、水原地裁刑事3単独のオム・サンムン部長判事は、詐欺及び詐欺未遂の容疑で起訴されたA氏（59）に懲役6ヵ月を言い渡した。

また、共犯のB氏（53）に懲役8ヵ月を、C氏（59）に懲役6ヵ月に執行猶予2年および80時間の社会奉仕をそれぞれ宣告した。

オム部長判事は「被告人らのこの事件犯行は体育入試生を子供に持つ保護者である被害者の境遇と期待心理を利用して金を詐取したり詐取しようとしたが未遂に終わったもので、その犯行手法に照らして罪質が良くない」と判示した。

ただし「被害者の子供に対して実際に射撃レッスンが行われたと見られる点、A氏とC氏は同種犯罪で処罰された犯罪前歴はない点などは有利な情状」と量刑理由を明らかにした。

射撃コーチのA氏と過去にA氏と選手として活動したB氏らは、2021年に体育受験生の子供を持つ被害者に会い、「D大学に特技生の空席が2人ある。A氏とレッスンの話をすれば良い」と話し、まるでD大学に入学させるかのように騙して被害者からレッスン費名目3千万ウォンを送金され詐取した疑惑で裁判に渡した。

B氏は被害者に「D大学射撃部監督」と記載された名刺を渡したが、実際にB氏は監督ではなく才能寄付指導者であり、D大学実技優秀者選考(特技生)選抜種目には射撃が含まれていなかったことが確認された。

C氏は被害者側に「より良い大学に入る機会がある」と薦め、A氏とB氏を紹介したと調査された。

彼らは、被害者の息子がD大学入試で不合格になったにもかかわらず、合格したと騙して2千万ウォンを追加で騙し取ろうとしたが、未遂に終わった容疑も受けている。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20250117089600061?input=1195m>

06 週間スポーツニュース

大韓体育会、AG出場選手団にマーケティング規定配布

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20250120113900007?input=1195m>

龍山区、2025年公共体育施設運営総合計画樹立

https://www.newsis.com/view/NISX20250120_0003038171

礼山郡、公共体育施設拡充…健康な都市を作る

<https://www.daejonilbo.com/news/articleView.html?idxno=2179851>

元プロサッカー選手が1兆ウォン台の不法賭博資金洗浄組織を摘発

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20250120051500051?input=1195m>

済州島、体育会補助金管理強化…国際大会参加「制限」

https://www.news1.com/view/NISX20250119_0003037516

清州障害者体育会、障害児童対象の冬季プログラム提供

<https://www.ccdailynews.com/news/articleView.html?idxno=2321131>

李ギフン会長、「体育会長当選3回」失敗…IOC委員の辞意表明

https://biz.chosun.com/sports/2025/01/16/0FYSR4R67VGDRIQS2XFRVJKC4/?utm_source=naver&utm_medium=original&utm_campaign=biz

全羅南道体育会の監査が大量に摘発.. 抜け落ちた市民の血税

<https://kjmbc.co.kr/NewsArticle/1444603>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援をお願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>